

60人に交通安全婦人 委嘱状を交付



広江町長から委嘱状を受けとる交通安全婦人

交通安全婦人の委嘱と同連絡協議会総会が五月三十一日役場で行われました。

はじめに、地域の交通安全の指導や啓発活動などにご協力をいただく交通安全婦人六十人に、町交通安全対策協議会長の広江町長から委嘱状が交付されました。

総会では、交通安全教室の開催を中心とした平成十四年度事業計画などが承認されました。

その後、羽島警察署の和田交通課長から、県内および羽島署管内で急増している高齢者や子どもの交通事故の状況や事故防止についての講話があり、出席した皆さんは、改めて交通安全に心掛けることの大切さを認識されました。

岐阜県市町村保健活動推進協議会表彰

大橋 房子さん

平成十四年度岐阜県市町村保健活動推進協議会表彰が五月二十二日、健康科学センターで行われ、大橋房子さん（田代）が受賞されました。

大橋さんは、昭和六十一年に母子保

健推進員となつて以来、乳幼児健診の受診勧奨や、母親への相談・助言に尽力されるなど、住民とのパイプ役となり、母子保健の向上に多大に貢献されました。

「小さな親切」実行章

笠松町婦人会

「小さな親切」実行章贈呈式が六月二十日、岐阜グランドホテルで行われ、笠松町婦人会が受賞されました。

この章は、日常のなかで、心あたたまる親切を実行してくださったかたに心から感謝し、その行為に敬意を表するために贈

呈されるもので、今回の受賞は、同婦人会が、二十年間の長きにわたりデポジット運動をはじめとする環境保全運動で得られた資金で、町へ公施設巡回町民バスを寄贈されたこと（一月号および五月号でお知らせ）が認められたものです。

第二回笠松町財政健全化計画

策定委員会開催



活発な意見が出された委員会

五月二十八日、役場で第二回町財政健全化計画策定委員会（委員長柿本国弘氏）が開催されました。

今回は、これまでの町の主な事業と今後の課題についての意見が交わされました。

委員の皆さんからは、「行財政改革を実行し、町としての取り組み姿勢を打ち出すこと」、「施設の利用率を向上させる」とともに使用料の見直しを図ること、「ミヤや老人介護の体制整備などの今後避けては通れない問題が提起され、策定する計画に網羅する必要がある」など、それぞれの立場から活発な意見が出されました。